



CHIBABANK

# 香港ニュース

2018年4月号

◆ 香港と日本の関係について

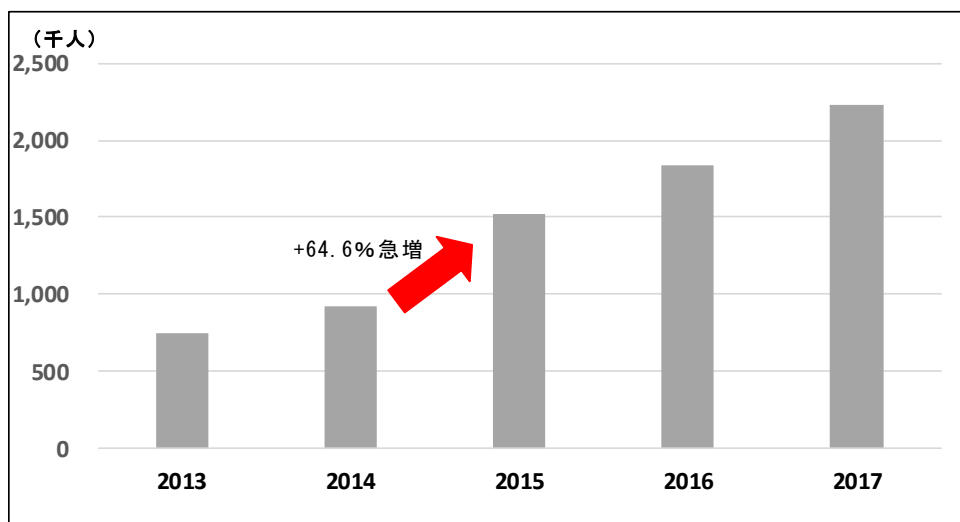
千葉銀行 香港支店

## 1. はじめに

日本政府観光局によると、2017年の香港人による訪日旅行者数は前年比21.3%増の223万人と、初めて200万人を突破しました。

訪日旅行者数全体(2,869万人)に占める香港人の割合は7.8%と決して大きいとはいえないものの、香港の人口が約740万人(2017年末時点)であることを考慮すると、香港人の3割が昨年1年間で日本を訪れた計算となり、その人気の高さが窺えます。

【香港人訪日旅行者数】



(出所：日本政府観光局 (JNTO) )

近年、日本政府による積極的なインバウンド推進活動と相まって、香港人訪日旅行者数は右肩上がりとなっています。また、為替レートが香港ドルに対し、比較的円安水準を続けていることも、香港人の訪日を後押ししているとみられます。特に2015年は、年間を通じ1香港ドル=15~16円の円安水準を維持したこともあり、訪日旅行者数は前年比+64.6%と急伸しました。

香港人訪日旅行者の特徴として挙げられるのは、リピーターの割合が高いことです。そのため、日本側としては、北海道や東京、大阪といった主要な観光地を訪れたことがある人に対して、東北や四国などの地方都市の魅力をいかにアピールし、リピーター需要を取り込むかが課題となっています。

今回のレポートでは、香港と日本の関係についてお伝えいたします。

## 2. 香港と日本の歴史的関係

香港と日本が歴史上の接点を持ったのは、第二次世界大戦前にさかのぼります。1941年12月、日本軍は当時英国領であった香港を制圧し、1945年8月の終戦まで統治下に置きました。

日本の統治下にあった香港では、貿易相手の喪失に起因する極めて深刻な食糧不足や、軍票発行に伴う過度なインフレによる経済の衰退等、様々な社会問題が発生したとされています。

香港ではこうした3年8ヶ月にわたる日本統治時代を「三年零八個月」と呼んでおり、暗い歴史として香港人の心に残っているようです。

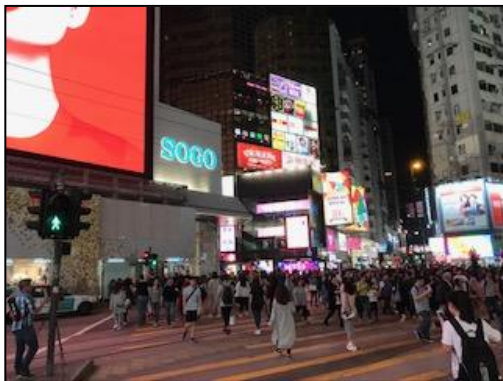
こうした経緯がありながらも、戦後しばらくすると、香港では日本食や日本製品が香港人の日常生活に深く浸透していくようになりました。一方、日本でもカンフー映画に代表されるように、香港の文化が広く知れ渡るようになるとともに、多くの日本人旅行者が香港を訪れるようになりました。

香港で日本食や日本製品を支持する動きが広がったことを受け、日系百貨店は相次いで香港に進出しました。また、経済特区に指定された中国・広東省に製造拠点を設置する外資企業が、その貿易拠点となる香港に事務所を構える動きが活発化しました。こうした流れの中、百貨店以外にも多くの日本企業が香港に進出し、1990年代中頃には、香港に進出する日本の金融機関の支店・事務所数は90店舗を超えていました(2018年2月末現在では23店舗)。なお、当行も1989年4月に香港支店を開設しました。



統治時代、通りの名称は日本式の名称に置き換えられた。

(香港歴史博物館にて筆者撮影)



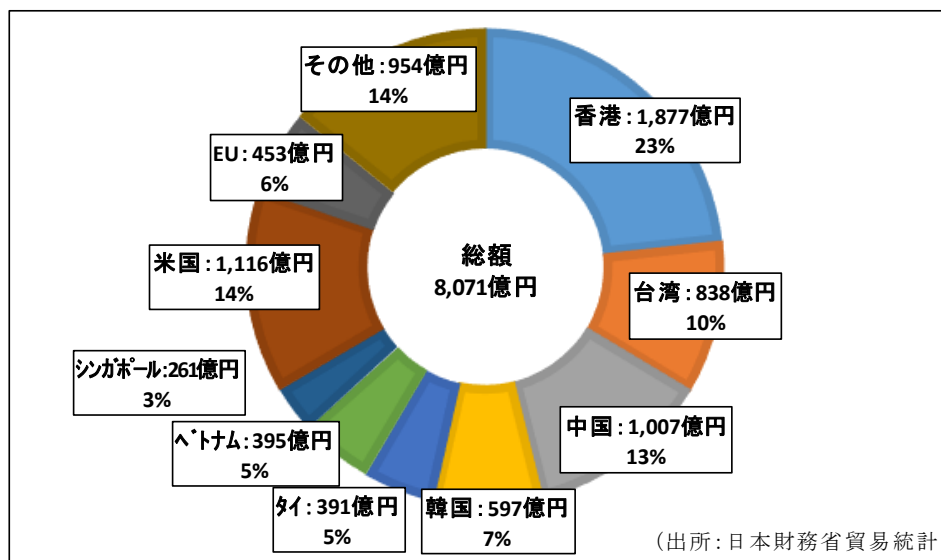
日本でも馴染みのある百貨店は多くの香港人で賑わっている。(筆者撮影)

### 3. 香港は日本の農産物・食品の最大の輸出先

香港は現在、日本にとって最大の農産物・食品の輸出先であり、2017年のシェアは23%と、13年連続で第1位となっています。これは、香港が大消費地である中国本土への物流の玄関口となっており、香港経由での中国本土向け輸出を行っていることに加え、香港での日本食品の安全性に対する信頼度が高いこと等が背景にあります。日本政府も、農産物の更なる輸出拡大を後押しするため、香港で毎年開催されるアジア最大級の食の展示会「フード・エキスポ」で日本パビリオンを設置する等、積極的な販促活動を展開しています。

その一方、香港政府は東日本大震災以降、日本の5県(福島・茨城・群馬・千葉・栃木)で生産される野菜・果物・牛乳・乳飲料・粉乳は輸入停止措置をとっており、今のところ再開の目処は立っていません。

【日本の農産物・食品の輸出先（2017年）】



日本食を提供する飲食店については、寿司やラーメン、焼肉、とんかつなど幅広いジャンルが出店しており、日本でも馴染みのある日系チェーン店が香港に進出しています。

その中でもラーメンの人气が高く、香港版飲食店検索サイト「OpenRice」には2018年3月現在で466店のラーメン店が登録されています。特に、豚骨ラーメンが香港人に人気で、値段は約100香港ドル(約1,400円)と日本と比べて高いですが、ランチやディナータイムには行列が途切れません。

これらの背景として、冒頭で挙げた香港人訪日旅行客の増加があるといえます。実際に日本を訪れ日本食に触れ、帰国後も日本食を食べたいと思う香港人が増えたため、日本料理店の裾野が拡大しているとみられています。



香港には数多くの日本食料店が存在する。(筆者撮影)

## 4. 香港人の対日感情

日本との人・モノの交流が深まり、香港人の対日感情についても良好です。香港大学による他の国・地域への感情に関するアンケートの結果を見ると、戦時中に日本軍の統治下にあった過去がある一方で、日本に対して「好意的」と回答した人は 56.8%と、他の国・地域と比べ相対的に高い水準となりました。

### 【香港人の対外感情】

#### 【アジア周辺諸国】

国・地域	台湾	シンガポール	日本	マカオ	タイ	韓国	中国本土
好意的	59.1%	58.9%	56.8%	44.6%	43.1%	39.6%	32.3%
敵対的	3.6%	2.8%	8.1%	4.8%	6.6%	9.4%	28.3%

#### 【その他の地域】

国・地域	カナダ	オーストラリア	英国	ドイツ	フランス	米国
好意的	54.2%	47.4%	46.3%	38.6%	35.0%	34.7%
敵対的	1.4%	2.6%	4.4%	2.5%	6.8%	11.4%

(出所: 香港大学民意網站、2017年8月中旬実施)

## 5. おわりに

香港と日本の関係は、香港人訪日旅行者数の顕著な増加や、日本の香港向け農産物・食品輸出の拡大等を背景に一段と緊密化しています。日本は経済面において大きな恩恵を享受していますが、これは香港人の良好な対日感情によるものといえます。

今後もより一層、良好な関係を継続していくためには、日本側としては香港人の日本への興味を惹きつけるプロモーションの実施による訪日旅行者数の増加に向けた取り組みや、香港に向けて日本の文化を発信して、より多くの日本ファンを増やすような活動を行っていただけるかが重要であり、その動向が注目されます。

千葉銀行香港支店では、千葉県企業の香港・中国華南地区への進出等を全面的にサポートしております。現地法人設立の手続きや、オフィス・工場物件の紹介、税制等の情報等、幅広いサービスを提供させて頂いております。また、実績豊富な中国進出のためのコンサルタントを紹介することも出来ますので、弊行お取引店を通じ、お気軽にご相談下さい。

※ ここに掲載されているデータや資料は、情報提供のみを目的としたもので、投資勧誘等を目的としたものではありません。投資等の最終決定は、ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

※ また、弊行は、かかる情報の正確性や妥当性については、責任を負うものではありません。